団体名	NPO 法人発達障害支援ネット YELL		
事業名	発達障害に関する講演会	種別	Ⅰ型(1 年目)

課題

・地域における特別支援教育の啓発が進んでいない
・コロナ渦において、悩みを相談できずに 1 人で抱えやすい状況にある

事業内容・目的

発達障害に関する講演会

【目的:発達障害の当事者及びその支援者の支援、一般市民への啓発活動】

☑ いつで？ 令和 3 年 10 月 2 日(土)
☑ どこで？ 会場(勤労市民センター)とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催
☑ 何を？ 発達障害に関する講演会
☑ 講師は？ 伊庭 葉子 氏 (さくらんぼ教室 代表)
☑ 参加者は？ 保護者、教育関係者、福祉関係等者の計14名

事業費(A)	82,195 円
事業収入	8,000 円

支援金(B)	65,756 円
事業費に占める支援率(B/A)	80%

事業費内訳(単位:円)

1	講演会講師代	20,000	4	Zoom 有料プラン・郵送	14,968
2	用紙・文具	16,404	5	会場使用料	18,670
3	リーフレット・チラシ印刷	12,153	1～5 合計(A)		82,195

効果

・当事者への具体的な接し方や対応の仕方を学ぶ機会を提供できた

工夫したこと

私たちはこれまで直接会えることを大切にしてきましたが、コロナ禍でもつながれることや、オンラインでの参加しやすさの利点も加え、今回、初めて、会場とオンラインを選んで参加できるハイブリッドの形式で開催しました。子育て中や気力・体力の低下などで外に出にくい方、ご高齢やスマホやパソコンをお持ちでない方も、ご自分に適した参加の仕方を選択していただき、参加・視聴していただけるように工夫しました。

担当者より

発達障害のある子どもの置かれた立場、状況の事例を上げながら、どのようにしたら子どもが理解し、周りから理解されるかなど、教室での実績に照らして話を伺えました。今の閉鎖的なコロナ禍で、多くの参加者(保護者・教師・支援者等)から具体的な接し方、対応の仕方など、とても参考になったし勇気づけられたという感想をいただきました。私たちもとても勉強になりました。

参加者の声を基に、令和 4 年度は、発達障害のある人の就労支援とライフスキル支援をテーマにした学習会の準備を進めています。今後も、地域の中での情報発信と連携を大切にして、活動を継続していきたいと考えています。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

勤労市民センターでの学習会

オンラインと会場参加の併用による学習会・交流会にチャレンジしました。

打ち合わせの様子

リーフレット新しくなりました！

団体概要 　発達障害のある人は、家族も教育関係者・支援者も地域も、そしてなにより本人が適切な支援を切望しています。私たち YELL(エール)は、「発達障害の理解と支援の輪を地域に拡げよう！」という趣旨の基に活動しています。	
問合わせ先	氏名: 宗形　奈津子　　e-mail: newinfo@shiennet-yell.page